

報告第2号

石川県社会教育委員の令和4・5年度会議 協議題について

1 社会教育をめぐる現状・課題

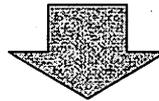
- 人口減少、少子高齢化、核家族化、未婚化・晩婚化、これらを背景とした単身世帯や単身高齢者の増加といった社会環境の劇的な変化が進み、地域社会を支える地縁・血縁といった人と人との関係性や「つながり」が希薄化
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、それまでの社会環境の変化等をもたらした社会において内在していた孤独・孤立の問題を顕在化
- 未来志向で「こうありたい自分、こうありたい地域の姿」を住民自治の観点から考え、そのために必要な学びとその成果が循環する、社会教育を基盤とした地域コミュニティの形成により、様々な課題が深刻な問題となる前に地域で解決されることが期待される
- 生涯学習を通じた個人の成長と、持続的な地域コミュニティを支える社会教育は、ウェルビーイングの実現に密接不可分

ウェルビーイングの実現	
ウェルビーイング：「個人」の幸せ+周囲の「場」のよい状態	
〈生涯学習〉 「個人」の生涯にわたる 自己実現を図る学習	〈社会教育〉 学びを通じた「人づくり・ つながりづくり・地域づくり」
生涯学習を通じた個人の成長と、持続的な地域コミュニティを支える社会教育は、ウェルビーイングの実現に密接不可分	

*ウェルビーイング (Well-being) :
一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せ。この幸せとは、経済的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさや健康も含まれ、このような幸せが実現される社会は、多様性と包摂性のある持続可能な社会でもある。

(出典：「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について (第十二次提言)」令和3年6月教育再生実行会議より抜粋)

(出典：第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理 (案案)
～全ての人のウェルビーイングの実現に向けて、共に学び、支えあう生涯学習・社会教育～ 令和4年7月より抜粋)



2 協議題

人と地域のウェルビーイングの実現をめざして ～つながりが紡ぐ社会教育の在り方について～

〈 設定の理由 〉

学びを通じた人と人とのつながり・絆の深まりが、誰一人として取り残すことのない社会的包摂の実現とそれを支える地域コミュニティの基盤の安定に重要

3 方法

石川県社会教育委員の令和2・3年度会議の協議を踏まえて作成した「いしかわ地域づくりシート(地域分析シート・企画シート『モデルCoDeL』)」の活用

地域づくりを進めていくには、まず「地域を知る」ことが大切です。皆さんの「地域カルテ」のようなものです。できるだけたくさん・具体的に情報を集めましょう。

地域名 (市・町 地区) 記入者 _____

【STEP 1】「地域の現状・実態・特性」を調べて示しましょう。

地域の現状・実態・特性	
-------------	--

【STEP 2】見えてきた地域の実態から、「地域の課題」を把握しましょう。(地域社会のニーズや住民の要望等のバランスを考慮)

地域の課題	
-------	--

【STEP 3】「地域の資源(ヒト・モノ・コト)」を積極的に活用するために、アンテナを高くして広く、できるだけ具体的に洗い出しましょう。

(いつも見慣れた・ありふれた資源と思っても、その活用法によって宝になる場合もあります。多方面から捉えましょう。)

地域の資源(宝)	ヒト
	モノ
	コト

【STEP 4】「理想の地域像」「将来像」など課題解決の方向性についてイメージを描いてみましょう。

理想の地域像	
--------	--

【その他】これから皆で共通理解する必要があると思う事項がありましたらどんどん記載しよう。

--

地域分析シートを基にして【企画シート『コデル CoDeL』】を作成していきましょう。

いしかわ地域づくりシート【企画シート『コデル CoDeL』】

(事業名)

【新規・継続 (年目)】

[県市町の「教育振興基本計画」「総合計画」「総合戦略」「生涯学習ビジョン」などとの関連]

地域の現状【STEP 1】地域の課題【STEP 2】

活かせる地域の資源 (モノ・コト) 連携・協力する関係 (ヒト) 【STEP 3】

理想の地域像・将来像【STEP 4】

SDGs との関連 (該当するもの全てに〇をつける)

						【該当する取組】 <div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>

取組内容		人づくり	評価	つながりづくり	評価	地域づくり	評価
	1年目						
	2年目						
	3年目						

成果指標	項目	年度評価	予算・資金・財源
	(定量評価) 数値で表せるもの		
(定性評価) 数値で表しにくいもの			

実施過程	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目												
2年目												
3年目												

[次年度へ向けての改善点]